

# 都市公園でのバーベキュー利用に関する社会実験結果

## 1. 社会実験の目的

- ・ 手軽なアウトドア活動として、野外でのバーベキューが広くおこなわれるようになるなど、市民ニーズが高まっていますが、従来都市公園内では市条例等により「火気の使用」が制限されているため、都市公園では、バーベキュー広場としての利用は原則できないのが現状となっています。

今回の社会実験では、都市公園でのバーベキュー利用の可能性とニーズについて、検証をおこなうこととしました。

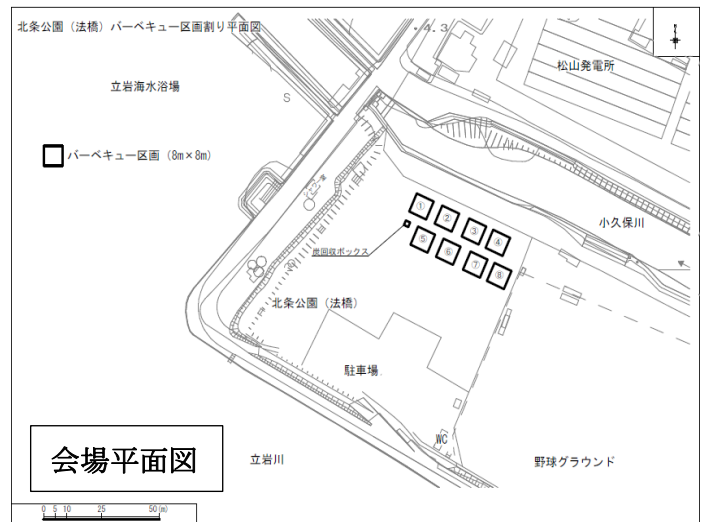
## 2. 社会実験の概要

- ・ 社会実験では、
  - ・ 市民ニーズの有無
  - ・ 「火気の使用」や管理に関する運営方法
  - ・ バーベキュー利用を行ううえで必要となる施設
  - ・ 利用者にお願するルール等について検証を行いました。
- ・ 整備が可能な公園に求められる施設として、
  - ・ においや煙などで周辺に迷惑にならない大きな広場
  - ・ 市内一円からの来園を可能とするための駐車場
  - ・ バーベキューでの食事を安心して楽しむためのトイレ等の必要となる施設
  - ・ 風景を含めたレクリエーションが楽しめる魅力がある公園などの条件を設定し、本公園を実験場所に決定しました。



- ・ 実験場所は夕日が見える海岸として人気のスポットに隣接する公園であり、多くの人に利用されています。

- ・実験場所：北条公園（法橋運動公園）  
広場内に8区画の仮設のバーベキューサイトを設置
- ・実験期間：令和4年11月3日（木・祝）～27日（日）の土日祝日の10日間  
利用時間 午前10時～午後3時（片付け含む）
- ・周知方法：実施1ヶ月前から、市のホームページ・市LINE公式アカウントにて情報発信・  
広報まつやま掲載・ショッピングセンター等でチラシ設置等を実施



配布したチラシ

### 3. 実験結果と分析

#### ●実験結果

- ・社会実験期間の内4日間は天候不良等のため中止となりましたが、計6日間で実施しました。
- ・11月という時期でしたが、利用率は48区画分の19区画（約40%）で、総勢104人の方に実験に参加していただきました。
- ・利用に関するルールでの運用結果については、概ね問題なく、周辺からの苦情や利用に関するトラブル等は発生しませんでした。
- ・隣接する海岸でもバーベキューを実施しており、公園が締め切った状態ではないため適切な火気の管理を行う必要があることが分かりました。
- ・同公園には隣接して野球場があり、休日には大会が開催されている。実施したうち2日間は駐車場が満車となったことから、公園内を臨時駐車場とすることで対応しました。
- ・受付方法は、事前に電話連絡いただく予約制で実施しましたが、雨で使用できない場合のキャンセルなど予約や連絡方法について問題点が見えてきました。

#### ●分析

- ・実施したアンケート結果は、バーベキュー利用への要望の高さ（再度の利用希望95%等）を確認した。  
※詳細なアンケート結果は、別途添付資料で掲載しています。
- ・バーベキュー用の整備を行っていない公園では、利用者が求めるニーズに応えきれていないため、ある程度の施設整備が必要になる。（バーベキューグリルの洗い場等がなく冷ませず車に積めない等）
- ・運営上の苦情や問題が無かったことから、今回の利用ルールを基本とした利用は可能と思われる。
- ・利用の予約は事前に電話で受付としたが、正式に実施する際には夜間や土日に受付が可能な本市が使用している他の予約システムの利用等を検討する必要がある。
- ・今回の実験を行った公園は、隣接する海岸ではバーベキューへの規制がないことから、適切な「火元管理」や「ごみの処分方法」等に関して、海岸の管理者である愛媛県と協議が必要となる。また当施設の「火元管理」や「駐車場対策」など、今回判明した問題点への対応のため、現在の指定管理者への依頼を含めた管理方法を検討していく必要がある。

### 4. 今後の方針

社会ニーズの高さが確認出来たことから、今回の社会実験で判明した問題点への対処・改善案の検討や、バーベキューでの利用が可能と考えられる公園の選定などを進めていく方針とします。

- ・今回の公園を含め、バーベキューでの利用が可能と考えられる公園の選定
- ・運営上必要となる管理・整備費用について、利用料金の徴収を含めて検討
- ・今回の社会実験で判明した問題点や改善点への対応方法



実験時の状況

